



2023 ESG説明会

荏原 (6361)

2023.11.27

Looking ahead,
going beyond expectations

Ahead > *Beyond*

株式会社 荏原製作所



代表執行役社長
CEO & COO

浅見 正男



執行役
技術・研究開発・知的財産統括部長
CTO

三好 敬久



独立社外取締役
取締役会議長

大枝 宏之



執行役
経営企画・経理財務統括部長
CFO

細田 修吾

目次

1. ESG経営の更なる進化

- E : TCFD提言に関する取り組み
水素に関する取り組み
- S : 人的資本に関する取り組み

浅見 正男 代表執行役社長 CEO & COO

2. 荏原の技術研究開発・知財戦略と技術継承戦略

三好 敬久 執行役 技術・研究開発・知的財産統括部長 CTO

3. コーポレートガバナンス : Governance to Value

大枝 宏之 独立社外取締役 取締役会議長

1. ESG経営の更なる進化

- E : TCFD提言に関する取り組み
水素に関する取り組み
- S : 人的資本に関する取り組み

浅見 正男

代表執行役社長

CEO & COO

長期ビジョン「E-Vision2030」 2030年の世界を見据え、マーケットインの視点で事業を通じて社会課題を解決する

背景



課題解決のイメージ



E-Vision2030

2030年にありたい姿

5つのマテリアリティ（重要課題）



1. 持続可能な社会づくりへの貢献



2. 進化する豊かな生活づくりへの貢献



3. 環境マネジメントの徹底



4. 人材の活躍促進



5. ガバナンスの更なる革新

社会・環境価値

事業を通じた社会課題の解決



CO₂約1億トン相当の温室効果ガスを削減



世界で6億人に水を届ける



ICAC5への寄与…14 Åへの挑戦

経済価値

- ROIC 10.0%以上
- ROE 15.0%以上
- 売上収益 1兆円規模

企業価値向上の目安
時価総額 1兆円

E-Plan2025で掲げる基本方針/経営戦略

持続可能な社会に向けた高度なESG経営の実践



E : 環境



S : 社会



G : ガバナンス

戦略/取組方針

カーボンニュートラル・自社製品・サービスを通じた環境負荷低減

- 事業活動における環境負荷低減
- 自社製品・サービスの提供を通じたGHG排出量の削減
- 水素社会実現のための製品開発・市場投入
- 廃プラスチックのケミカルリサイクル技術の商用化実現

人的資本経営、ダイバーシティの推進、人権尊重

- 人的資本経営の強化
- DE&I(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)の推進
- サプライチェーンにおける人権DDの推進

コーポレート・ガバナンスの更なる高度化

- (取締役会の役割と活動)
- 中長期的課題解決に向けた荏原グループの成長をサポート
 - 執行側のサステナビリティに対する監督
 - 取締役会とステークホルダーとの対話
 - 実効性向上に向けた取り組みの継続

中期経営計画 E-Plan2025の非財務目標

中期経営計画「E-Plan2025」の最終年度である2025年度に達成すべき非財務目標

非財務指標



項目	目標
CDP評価（気候変動）	B 以上を維持
Scope1,2	2018 年比 32%GHG排出量削減
Scope3/削減貢献量/他 （バリューチェーン）*	バリューチェーンにおけるGHG排出量の合理的測定手法の確立

* 2023年11月表記変更



項目
取締役会のパフォーマンスの深化と G to V*への貢献



項目	目標
競争し、挑戦する風土へ変革し、多様な社員が働きやすさを感じて活躍できる環境づくりを目指す ・エンゲージメントサーベスコア	FY2025 83以上
グローバルモビリティの向上を目指す ・Global Key Position(GKP)における非日本人社員比率(連結)	FY2025 30%
男女の賃金差異解消 ①GKP女性ポジション比率(連結) ②女性基幹職比率(単体)	①FY2025 8%以上 ②FY2025 8%以上
性別に関係なく仕事と育児を両立できる企業風土を醸成 ・男性育児休業取得比率(単体)	FY2025 100% (2023年11月に目標公表)
障がいのある社員の活躍促進 ・障がい者雇用比率(単体+グループ適用会社4社)	FY2025 2.6%以上
サプライヤ向けの人権 DD の結果に基づく必要な施策の実施	

TCFD提言に関する取り組み

- 2022年末までに、全対面市場向けの気候関連シナリオ分析を実施
- その結果を2023年からスタートしたE-Plan2025に反映

ガバナンス

- 取締役会でカーボンニュートラルの取り組みに関して審議
- 気候関連を含む非財務指標・目標の進捗状況をサステナビリティ委員会でレビュー

リスク管理

- 対面市場ごとに気候関連のリスクと機会を特定
- 中期経営計画のアクションプランの進捗を監視する「経営課題行動計画モニタリング会議」で気候関連の取り組みの進捗を監視

戦略

- 対面市場ごとの気候関連シナリオ分析結果に基づき、全てのカンパニーが気候関連の戦略を策定しE-Plan2025に反映

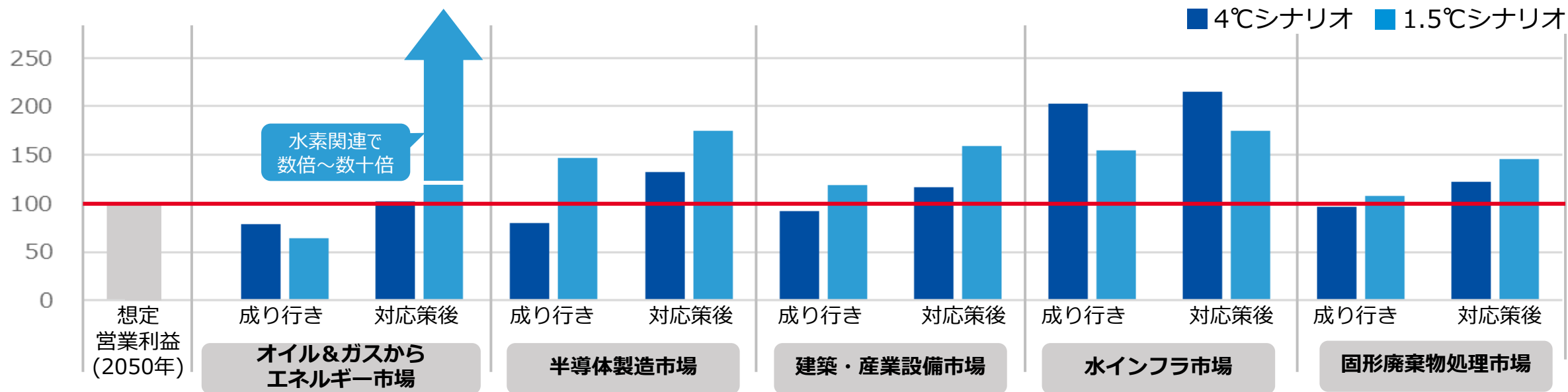
指標・目標

- 各カンパニーとその管下会社・部門が目標達成に向けた施策をE-Plan2025のアクションプランに落とし込み推進中

2023年 TCFD提言への対応（財務インパクト）

各事業の2050年想定営業利益を100に対して（リスク・機会を加味なし）、シナリオ分析に基づく気候関連のリスク・機会を加味した場合の「成り行き」「対応策後」のギャップを示す

成り行き：現状の製品・サービス、生産体制に気候関連のリスク・機会の影響を考慮した場合の財務インパクト
対応策後：成り行きに対して、気候関連対応策を講じた場合の財務インパクト



分析の結果

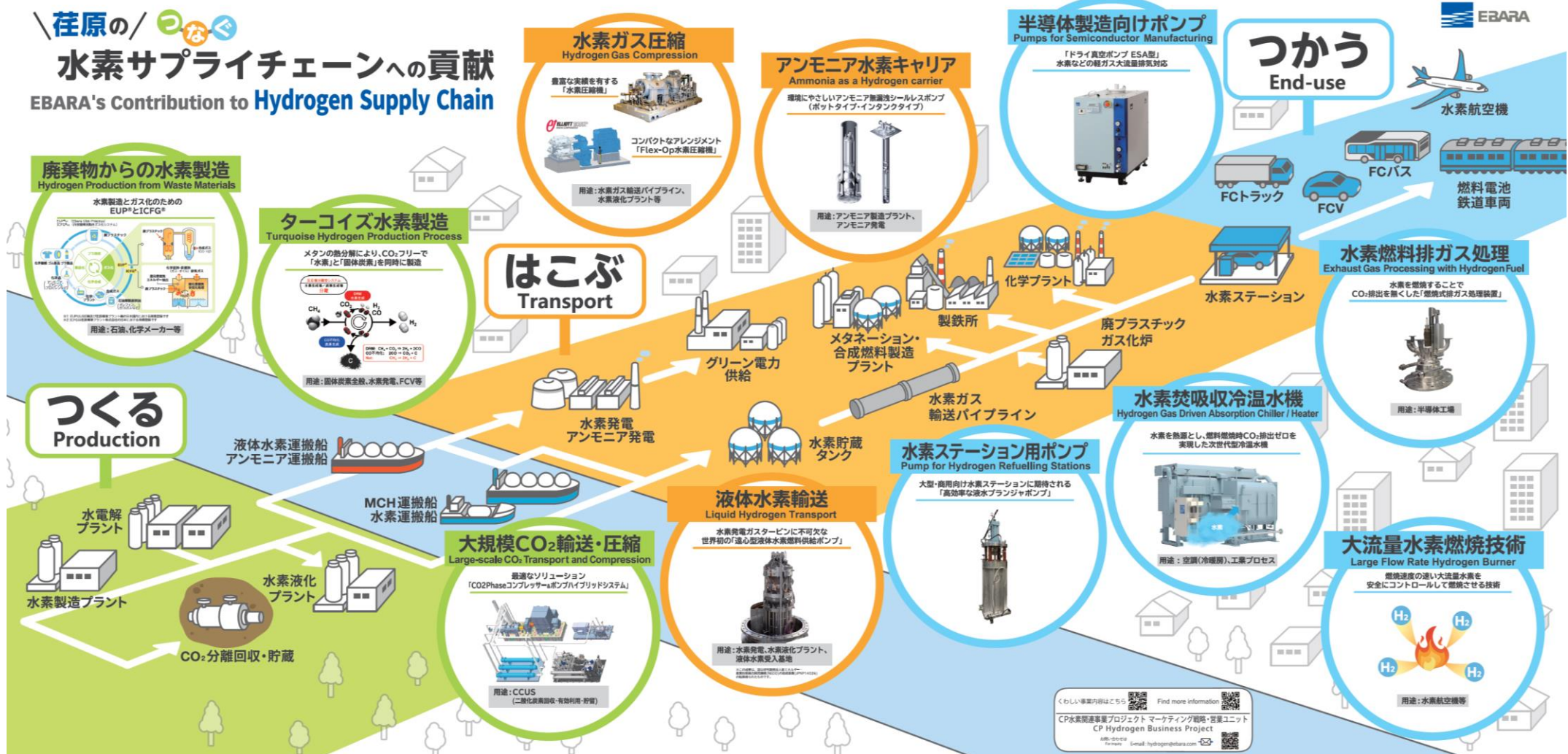
4°C/1.5°Cないし2°Cシナリオで描いた対応策により、いずれの対面市場においても増益につながる

➤ オイル&ガス市場は水素などの次世代型エネルギー市場へと移行し、営業利益の大きな伸びを期待

水素に関する取り組み

荏原ならではの環境・社会への貢献：水素関連技術

- 電力、非電力（運輸、産業、民生）すべての分野に新製品を投入予定
- 水素関連事業の拡大を軸として、脱炭素社会の構築に貢献



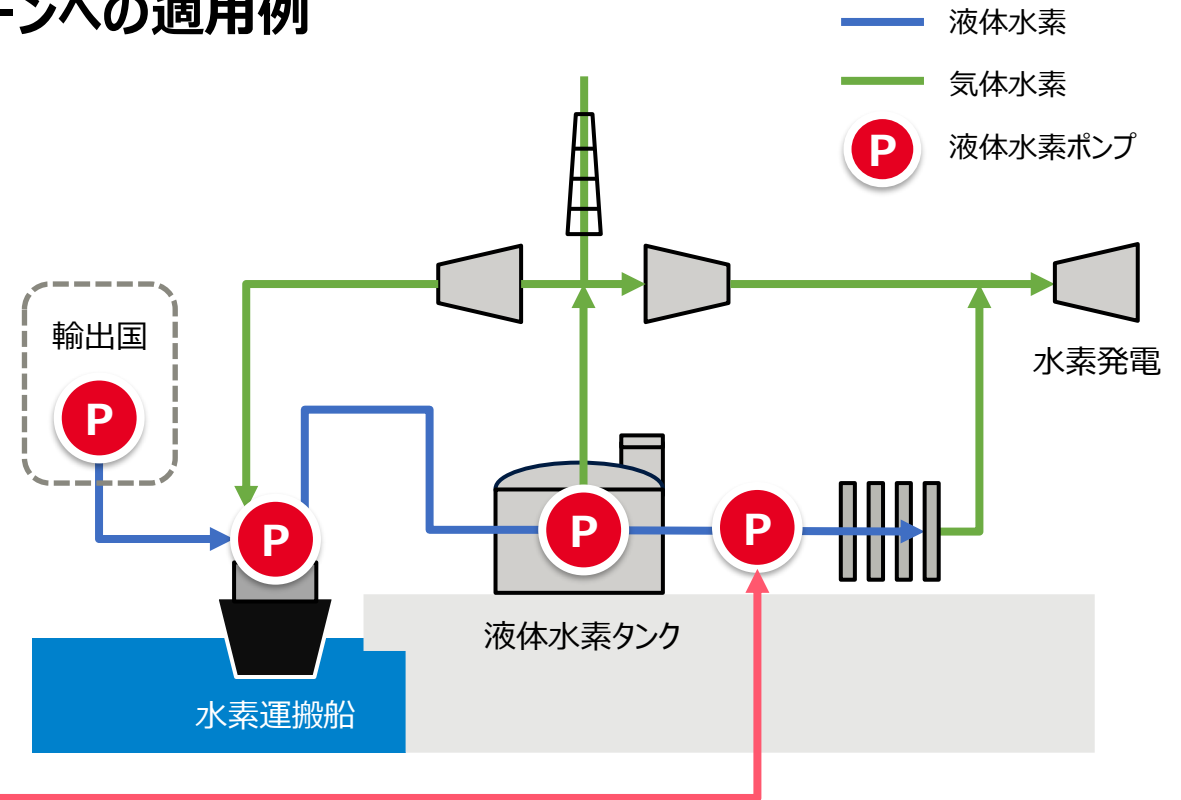
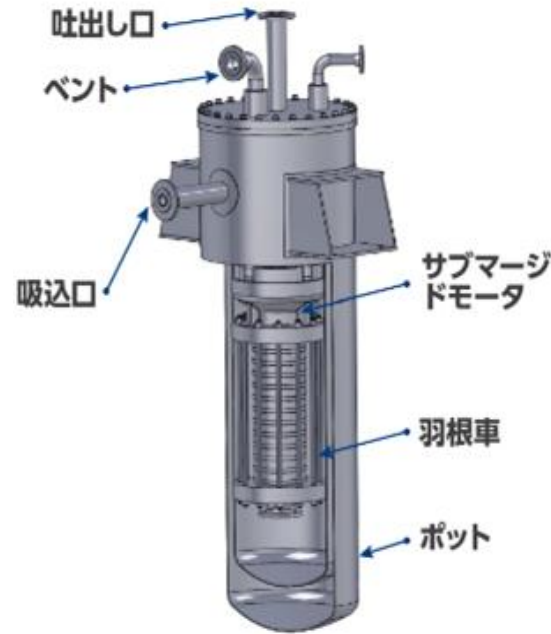
水素事業を通じた貢献：液体水素昇圧ポンプ

- 液体水素実液試験を経て、世界初の液体水素昇圧ポンプ（液体水素温度：-253℃）を開発
- 海外からの大規模サプライチェーンなど、あらゆる水素をポンプでつなぎ、水素社会の実現に貢献

液体水素昇圧ポンプ



液体水素大規模サプライチェーンへの適用例



人的資本に関する取り組み

E-Vision2030



4. 人材の活躍促進

2030年までに国籍・性別を問わず、自ら考え、スピード感をもって、積極的に新たな挑戦をし、目に見える成果を出す企業へ

エンゲージメントサーベイスコア

86以上

GKP非日本人社員率

50%以上

GKP女性ポジション比率

10%以上

E-Plan2025

<E-Plan2025人事戦略骨子>

- ① 多様な人材の活躍促進とグローバル基盤の確立
- ② グローバル共通人材マネジメント基盤の構築
- ③ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン

エンゲージメントサーベイスコア

83以上

GKP非日本人社員率

30%以上

GKP女性ポジション比率

8%以上

男性育児休業取得率

100%

女性基幹職比率

8%以上

障がい者雇用比率

2.6%以上

① 多様な人材の活躍促進とグローバル基盤の確立

- ✓ Ebara New Workstyle*1
- ✓ Global Career Development Program *2
- ✓ 社内公募

② グローバル共通人材マネジメント基盤の構築

- ✓ 役割等級制度の運用徹底
- ✓ Global Key Position*3
- ✓ キャリアマネジメントプログラム
- ✓ HCM(Human Capital Management)の構築

③ ダイバーシティ&インクルージョン

- ✓ 採用・育成の多様化
- ✓ 女性活躍推進
- ✓ 障がいのある社員の活躍促進

施策

*1 Ebara New Workstyle : 荏原グループにおける新しい働き方 / *2 Global Career Development Program : 公募制による荏原グループ全社員への海外でのキャリア形成プログラム
*3 Global Key Position : グループ全体の役割等級が高いマネジャーを多様化する取組み

E-Plan2025非財務目標とKPIの進捗と課題



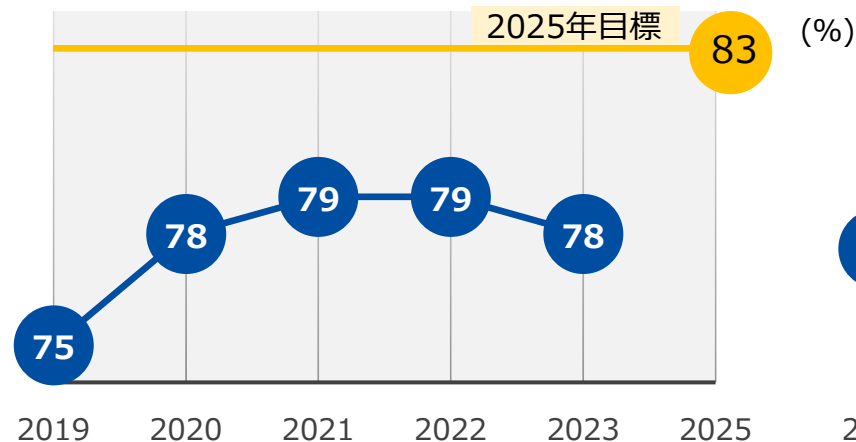
KPI	2022年実績	2023年見込み	2025年目標	2023年の取組み内容・今後の課題
グローバルエンゲージメントサーベスコア(連結)	79	78	83以上	<ul style="list-style-type: none"> 数値改善が鈍化傾向 (2023年10月13日に結果が出たため分析・対策検討中)
Global Key Position(GKP)における非日本人社員比率(連結)	23%	23% (2023/11/1時点)	30%以上	<ul style="list-style-type: none"> E-LEADプログラム(グローバル次世代リーダー育成)やグローバル人材育成プログラムへの外国籍社員・女性社員の参加者を増加
GKP女性ポジション比率(連結)	7%	8% (2023/11/1時点)	8%以上	
女性基幹職比率(単体) (法)	6.5%	7.2% (2023/11/1時点)	8%以上	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材の活躍を推進するために、学びたい・挑戦したい社員に対してキャリアチェンジを目指せるような仕組みを構築 リーダー候補の早期選抜・育成を強化
男性育児休業取得比率(単体) (法)	79.6%	100% (2023/11/1時点)	100%	<ul style="list-style-type: none"> 特別公休も含めた育児を目的とした休暇の実態を把握 男性社員の育児休業取得促進のための施策を実施
障がい者雇用比率(単体+グループ適用会社)	2.37%	2.54% (2023/6/1時点)	2.6%以上	<ul style="list-style-type: none"> 荏原グループの障がい者雇用管理を一元化 グループ一体で障がい者雇用・事業を推進 キャリア形成の視点で障がいのある社員の能力開発を行い、事業プロセス内での活躍の場を拡大

(法) …公表が義務化された指標

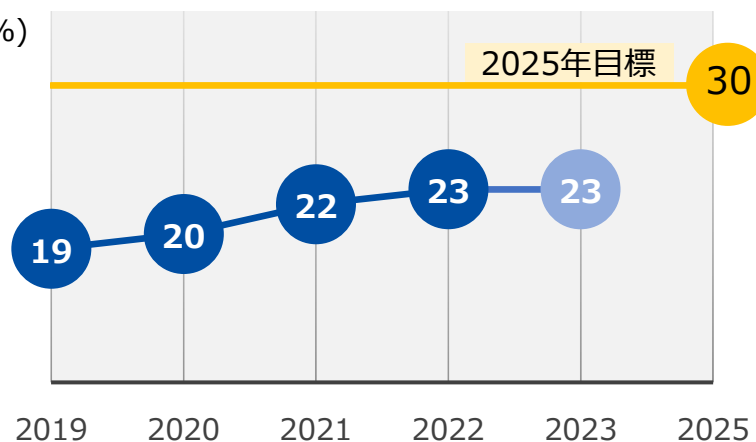
E-Plan2025非財務目標とKPI経年実績



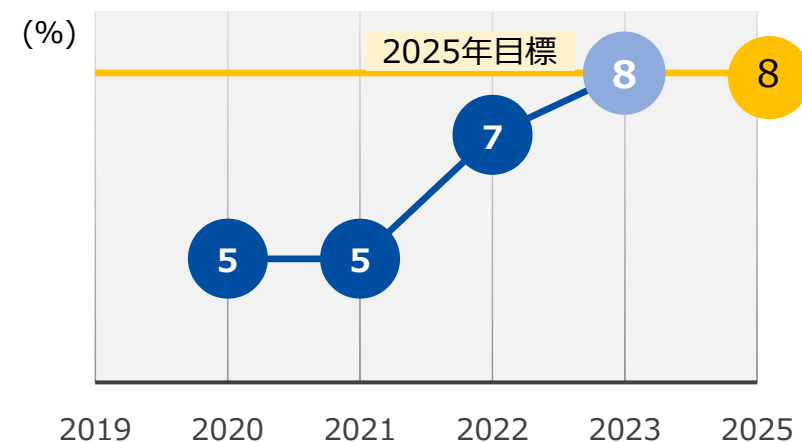
グローバルエンゲージメントサーベイ(連結)



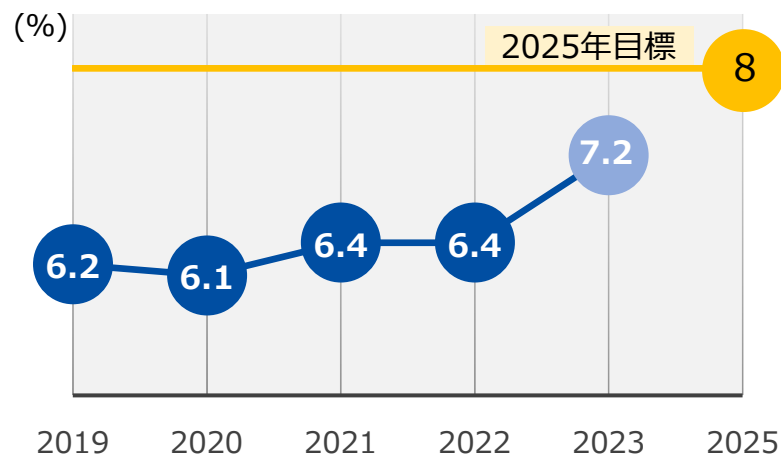
GKP* 非日本人社員比率(連結) (2023データは2023/11/1時点)



GKP* 女性ポジション比率(連結) (2023データは2023/11/1時点)



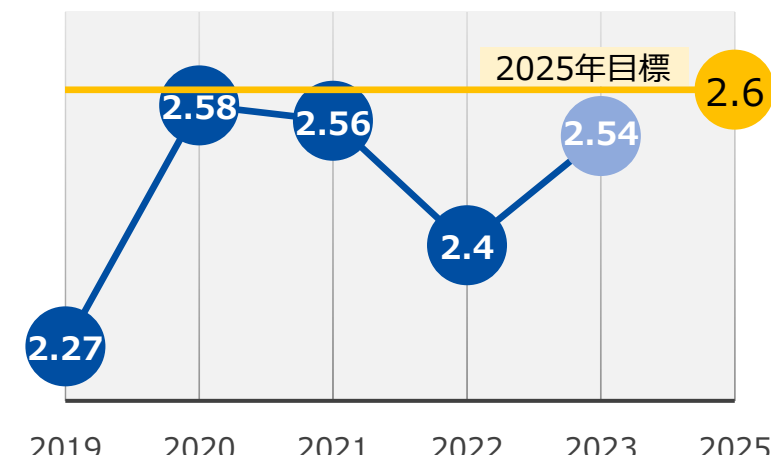
女性基幹職比率(単体) (2023データは2023/11/1時点)



男性育児休業取得率(単体) (2023データは2023/11/1時点)



障がい者雇用比率(単体+グループ適用会社4社) (2023データは2023/6/1時点)



人的資本の情報開示 三指標の現状・施策

- 2023年より開示義務となった指標の実績は右表の通り
- 以下の施策を進めることで男女問わず活躍できる仕組み・環境を整備し、三指標を改善していく

人的資本の情報開示 三指標	22年実績	25年目標
男女間賃金差異※	正社員 73.7%	-
	非正規雇用 39.3%	
	全労働者 71.9%	
女性基幹職比率	6.4%	8%以上
男性育児休業取得率	79.6%	100%

※男性給与に対する女性給与の比率

ありがたい姿・目標達成のための具体的施策

男女間賃金差異の理由

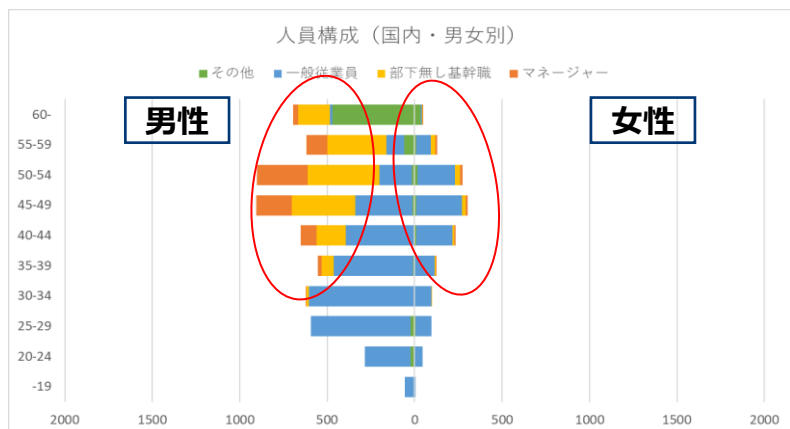
- 正社員：女性基幹職比率が6.4%と低いこと
- 非正規社員：男性のうち94%が嘱託社員であるが、女性は50%がパート社員であること

女性基幹職向上策

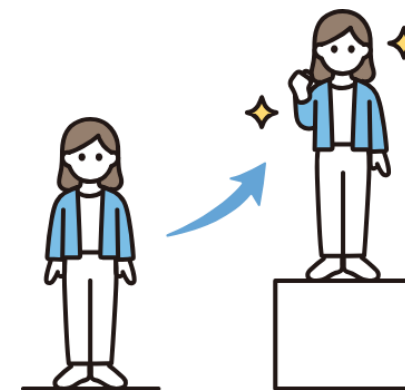
1. 基幹職合格までを1年に短縮 導入済み
2. 抜擢受験(受験資格の拡大) 導入済み
3. 勉強機会提供(学習補助等)
4. 子育て支援(ベビーシッター等)

期待できる結果

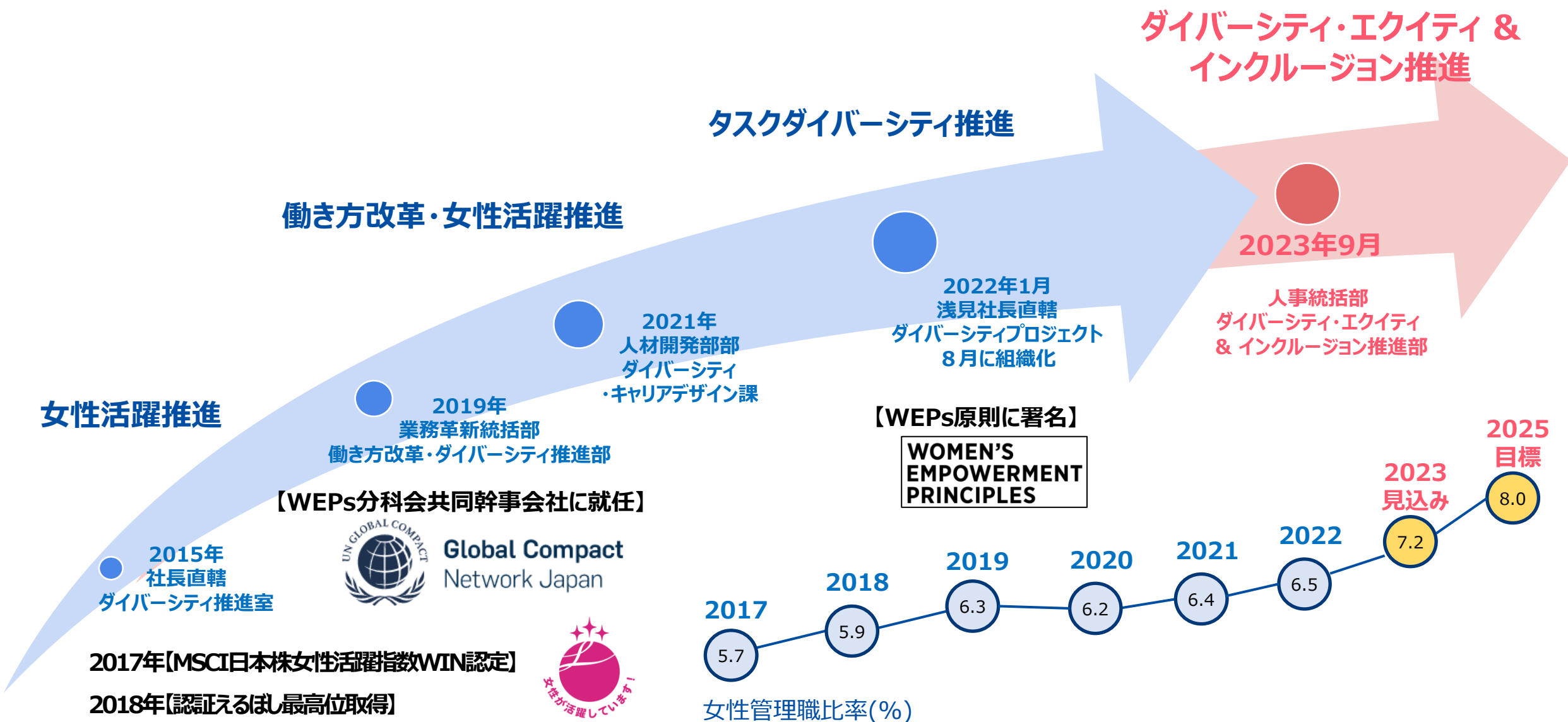
- 男女間賃金差異の是正
- 女性基幹職比率向上
- 男性育児休業取得率向上



- ・優秀層の早期登用
- ・早期からキャリアを描けるため
ライフステージの影響を受けにくい
- ・ワークライフの両立実現
- ➡女性だけではなく男性のキャリア形成にも有効



荏原のダイバーシティ推進活動と組織の変遷



2. 荏原の技術研究開発・知財戦略と技術継承戦略

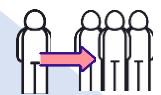
執行役

技術・研究開発・知的財産統括部長 兼 CTO

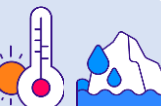
三好 敬久

社会課題を捉えた研究開発活動の推進により、経済価値と社会・環境価値への貢献を実現

社会課題・メгатレンド



人口増加



気候変動・温暖化



自然災害



感染症リスク



地政学リスク



食糧・水資源枯渇



CO2・海洋汚染

技術・知財関連のE-Vision2030重要課題



1. 持続可能な社会づくりへの貢献



2. 進化する豊かな生活づくりへの貢献

技術・研究開発による事業成長への貢献

新規事業探索と育成

研究基盤強化

E-PLAN2025 取り組み

- 対面市場ごとのロードマップ策定
- 研究成果の移管、事業での活用支援のためのフォローアップ
- 製品開発プロセスの迅速化のための製品開発ツールの開発と展開
- 知財 & 非知財情報分析に基づく事業提言レポートの作成

- メгатレンドからの戦略シナリオ策定とアクションプランの設定
- マーケ視点・ビジネス視点での社内外連携強化

- 長期視点に立った人材ローテーションの実施
- 各事業部門、マーケ・生産技術部門と連携した人材獲得と人材育成
- 技術・人材マップの活用促進

E-Vision2030 成果目標

社会・環境価値への貢献

- ・ CO2約 **1億トン相当**の温室効果ガスを削減
- ・ 世界で**6億人**に水を届ける
- ・ ICAC5*1への寄与：**14人**への挑戦

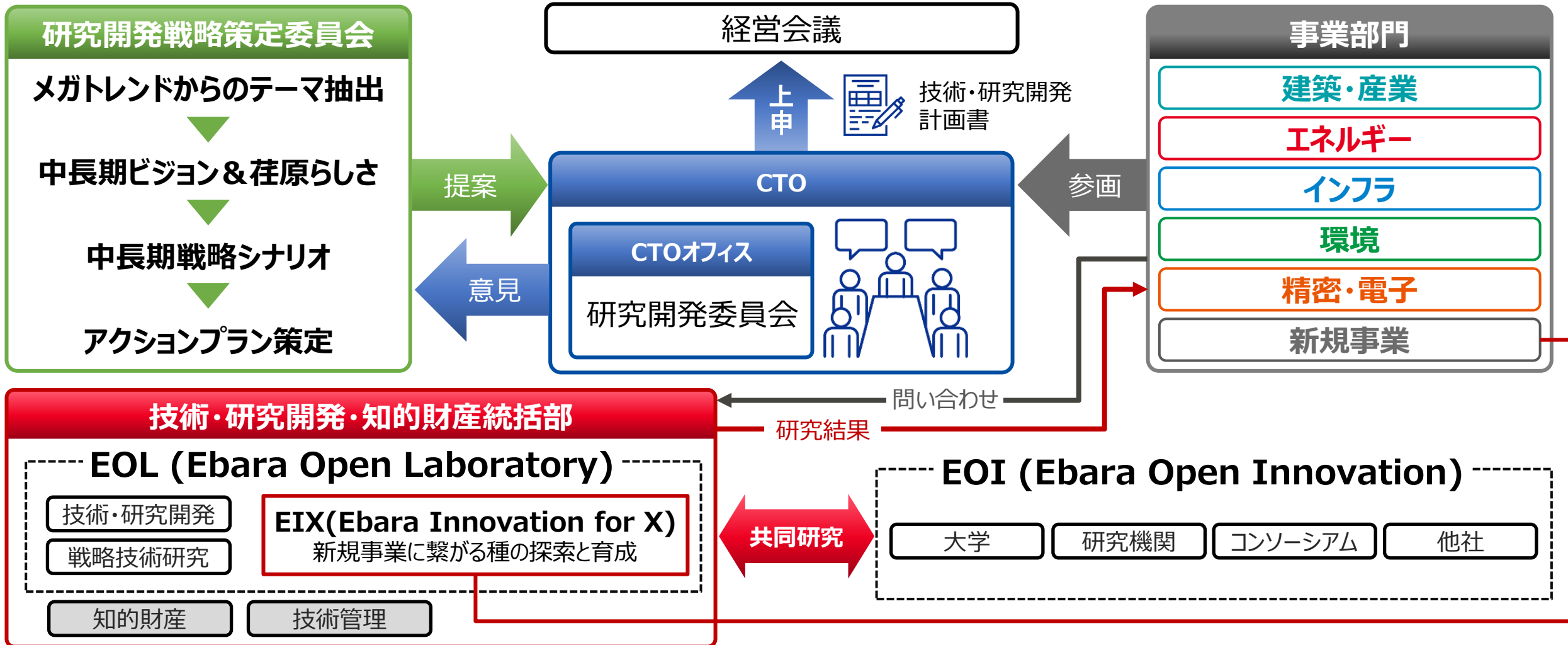
経済価値への貢献

- ・ ROIC **10%以上**
- ・ ROE **15%以上**
- ・ 売上収益 **1兆円規模**

※1 IoT, Cloud, AI, Car, 5Gの頭文字を取った当社の造語

荏原の技術・研究開発・知的財産の体制

- CTO、CTOオフィスを基軸とした技術・研究開発・知的財産の体制を構築し、事業部門と連携
- EOL、EOI、EIXが、荏原ならではの技術・研究開発・知的財産に関する取り組み



「技術元素表」

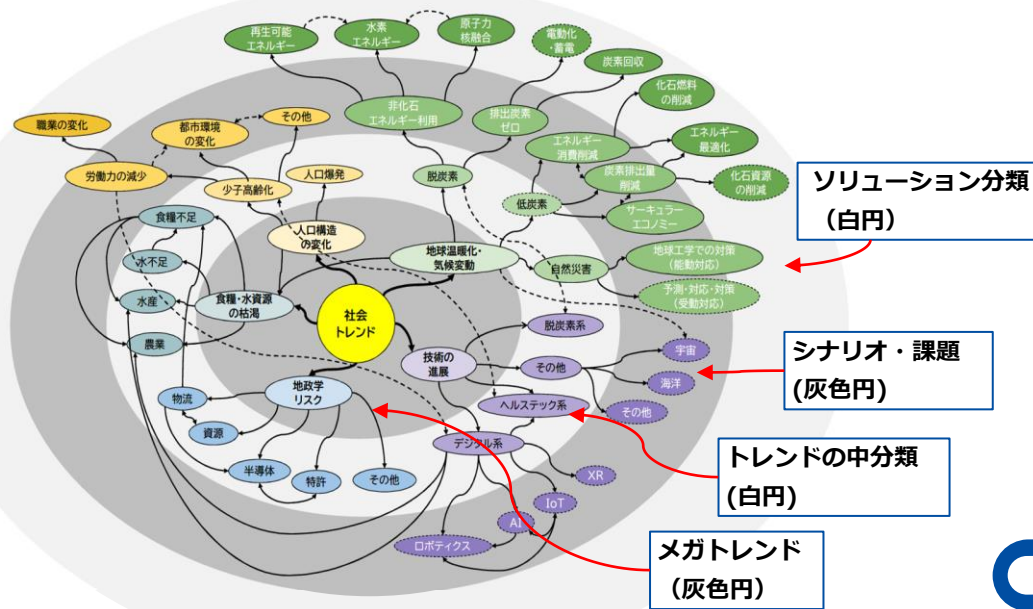
- 2022年9月公表
- 2023年更新： ①対面市場別 5カンパニーに再整理 ②技術数拡大（47→64） ③「共通技術」を追加

	インフラカンパニー		エネルギーカンパニー		建築・産業カンパニー		精密・電子カンパニー					環境カンパニー			
	Pr Planning & Proposal	Pj Project Management	Rc Refrigerating Compressor											Bi Boiler	In Incinerator
	Cm Construction Management	Pt Power Transmission Device	Cr Cryogenic Engineering	St Seal Technology	Hi Heat Integrated System	Rc Refrigerating Compressor	Es Embedded Software	Tg Timing Gear	Po Polish	Vt Vacuum Technology	Pl Electro Plating	Ce Clean Environment	Ds Data Science	Rb Robot	Py Pyrolysis & Gasification
	Qa Quality Assurance	Fl Fluid	Ch Chemistry	Sm Sliding Materials	Ea Electro-magnetic Analysis	Mw Motor Under Water	Pu Pump System	Ml Magnetic Levitation	Cl Cleaning	Ep End Point Detector	Oz Ozonized Water	Eg Exhaust Gas Treatment	Mt Material	Eg Exhaust Gas Treatment	Mh Material Handling
	Ma Maintenance	Ei Electrical Instrumentation	Mt Material	Am Additive Manufacturing	Mm Motor Manufacturing	Sm Sliding Materials	So Systems Operation	Mo Motor Control	Mc Machining	Tr Throughput	Eb Electron Beam	Pz Plasma	Na Numerical Analysis	Md Measurement & Diagnosis	Ca Chemical Analysis
共通技術	Bt Bearing Technology	Va Vibration & Acoustics	Sd Structural Design	Na Numerical Analysis	Fd Fluid Machine Design	De Digital Engineering									
横断技術	Ca Chemical Analysis	As Assembly	Cs Casting	Ie Industrial Engineering	Mc Machining	Pm Presentational Maintenance	Ps Production System	Pw Press Working							
	Ch Chemistry	Va Vibration & Acoustics	Fl Fluid	Ht Heat Technology	Mn Motion Control	Mt Material	Na Numerical Analysis	Xr Extended Reality	Ds Data Science	Am Additive Manufacturing	We Welding	Ts Thermal Spray	Re Reverse Engineering	Nd Non Destructive Testing	Rb Robot

「研究開発テーマ」と「技術元素表」の連携

- 社会課題からテーマを整理し、荏原が取り組むべき研究・開発テーマを抽出
- 取り組むべきテーマと技術元素表を比較することにより、今後補充が必要な人材について整理

CTOオフィスによるメガトレンドからのテーマ抽出、荏原が取り組むべき研究・開発テーマ抽出



技術元素表で当社が保有する技術につき整理

インフラカンパニー		エネルギーカンパニー		建築・産業カンパニー				精密・電子カンパニー				環境カンパニー			
Pr Planning & Proposal	Pj Project Management	Rc Refrigerating Compressor										Bi Boiler	In Incinerator		
Cm Construction Management	Pt Power Transmission Device	Cr Cryogenic Engineering	St Seal Technology	Hi Heat Integrated System	Rc Refrigerating Compressor	Es Embedded Software	Tg Timing Gear	Po Polish	Vt Vacuum Technology	Pl Electro Plating	Ce Clean Environment	Ds Data Science	Rb Robot	Py Pyrolysis & Gasification	
Qa Quality Assurance	Fl Fluid	Ch Chemistry	Sm Sliding Materials	Ea Electro-magnetic Analysis	Mw Motor Under Washer	Pu Pump System	Ml Magnetic Levitation	Cl Cleaning	Ep End Point Detector	Oz Ozonized Water	Eg Exhaust Gas Treatment	Mt Material	Eg Exhaust Gas Treatment	Mh Material Handling	
Ma Maintenance	Ei Electrical Instrumentation	Mt Material	Am Additive Manufacturing	Mm Motor Manufacturing	Sm Sliding Materials	So Systems Operation	Mo Motor Control	Mc Machining	Tr Throughput	Eb Electron Beam	Pz Plasma	Na Numerical Analysis	Md Measurement & Diagnosis	Ca Chemical Analysis	
共通技術	Bt Bearing Technology	Va Vibration & Acoustics	Sd Structural Design	Na Numerical Analysis	Fd Fluid Machine Design	De Digital Engineering									
横断技術	Ca Chemical Analysis	As Assembly	Cs Casting	Ie Industrial Engineering	Mc Machining	Pm Presentational Maintenance	Ps Production System	Pw Press Working							
	Ch Chemistry	Va Vibration & Acoustics	Fl Fluid	Ht Heat Technology	Mn Motion Control	Mt Material	Na Numerical Analysis	Xr Extended Reality	Ds Data Science	Am Additive Manufacturing	We Welding	Ts Thermal Spray	Re Reverse Engineering	Nd Non Destructive Testing	Rb Robot

研究開発テーマと人材を結びつけて展開

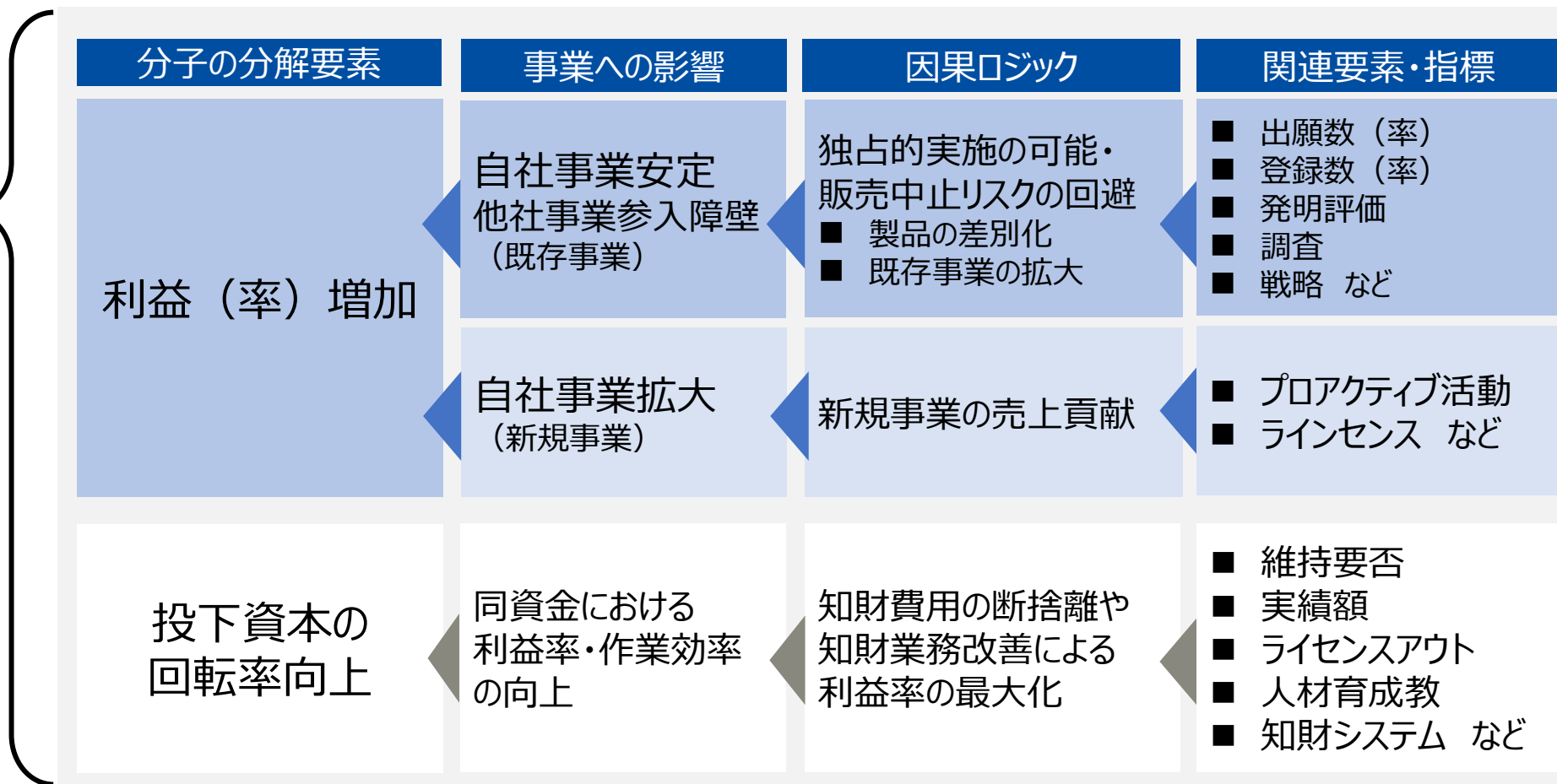
知的財産活動の取り組み（知財ROIC）

知財版ROICを策定・モニタリングすることで知的財産活動を効率化し事業、会社への貢献を更に高める

知財版ROIC：

知的財産活動による成果

投資（知財費用＋工数）

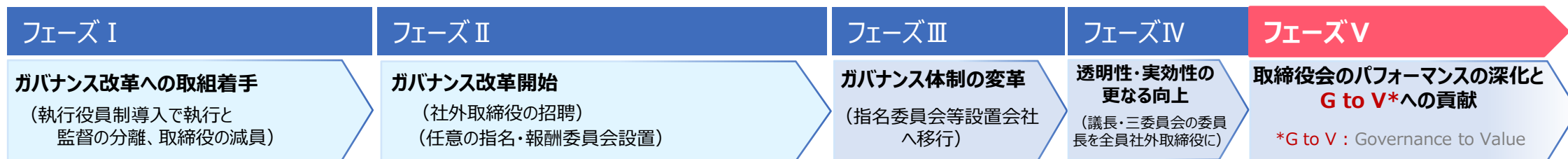


3. コーポレートガバナンス – Governance to Value

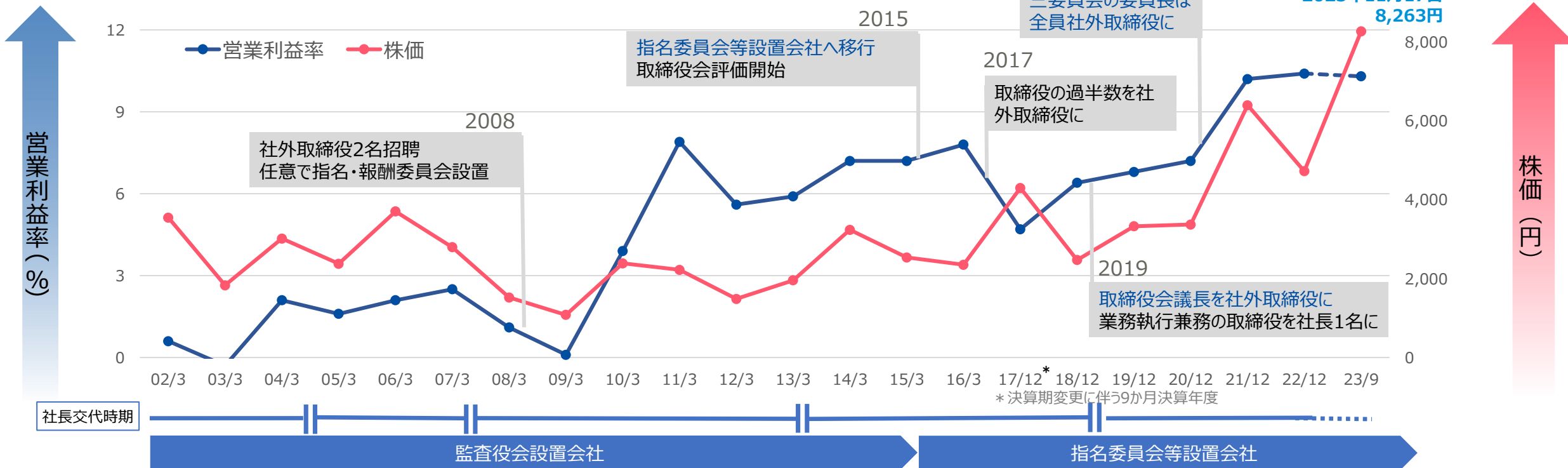
独立社外取締役 取締役会議長
大枝 宏之

コーポレートガバナンスの変遷

新たなフェーズへの進化 *Governance to Value*



社外取の人数
取締役の人数



サステナビリティの課題に対する取締役会の役割・監督状況


- 取締役会及び三委員会は、E-Vision2030及びE-Plan2025の実現に向け、荏原グループの成長をサポート

ご参考1

- 取締役会においてサステナビリティに関する**中長期課題**（人材育成、ダイバーシティ＆インクルージョン、サプライチェーンにおける人権デューディリジェンス、カーボンニュートラル、TCFD提言に基づく情報開示への対応策等）を**定期的に議論**
- 取締役は、執行の会議体である**サステナビリティ委員会に陪席**し、施策の実行状況を把握・必要な助言と後押し
- **取締役会の実効性評価**によりサステナビリティの課題に対する**取締役会の取り組みを検証**し、さらなる実効性向上に向けた議論・フォローアップ

サステナビリティの課題に対する各委員会の役割・監督状況

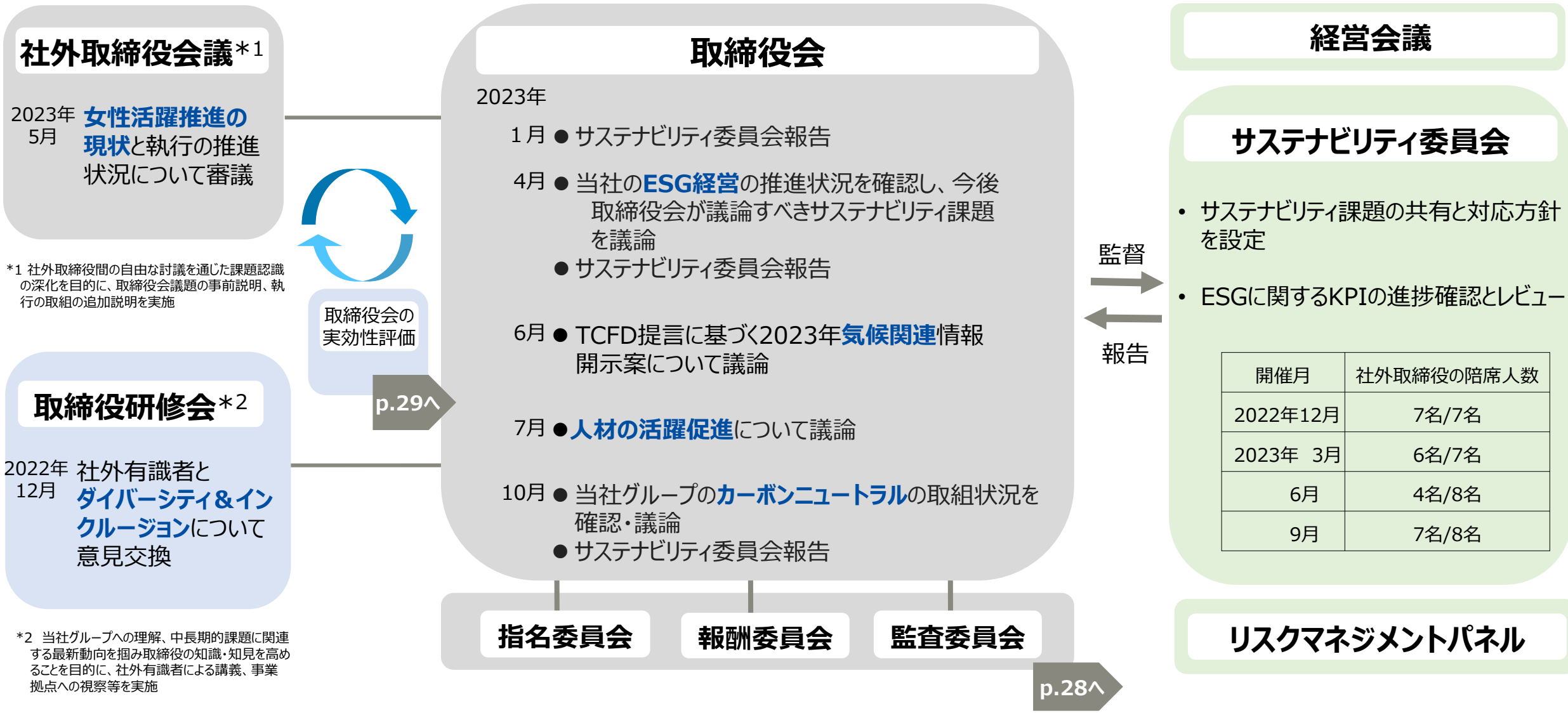


- 取締役会の下、指名・報酬・監査の三委員会は、各機能・役割に応じて、執行が進めているサステナビリティの課題への取組みを監督・後押し
- 指名委員会：課題の解決に挑み企業価値を高め続けていく**経営者及び経営チームを育成**する6年間の**社長サクセッションプラン**を作成・実行
- 報酬委員会：執行役の**役員報酬にESG評価指標**（CDP*、GES*）を反映させ、 E-Plan2025（GESスコア83以上、CDP評価B以上）を達成するための後押し
- 監査委員会：サステナビリティに関する**執行の取組みを監視・検証**

*CDP：気候変動対応の戦略やGHG排出量削減の取組みなどを評価するESG評価機関

*GES：Global Engagement Surveyの略。2019年より全世界の荏原グループ従業員を対象に実施
中長期的に目指すありたい姿の達成に向け会社や職場におけるエンゲージメントの現状を調査するもの

- 取締役会の実効性評価を毎年実施し、改革のドライバーとして活用
- 独立社外取締役の議長が実効性評価を主導し、個別インタビューを実施
- 各取締役との個別インタビューで自己評価・ピア（相互）評価を実施
 - その際、2021年に当社が制定した取締役の役割、および資質・能力をベースに評価を実行
 - 評価結果を指名委員会と共有し、取締役再任の参考に活用
- 各取締役に議長の評価をヒアリング（議長は離席）
- 実効性評価で認識された課題を翌年の取締役会の議題に反映させ、PDCAサイクルを実行
- 数年に一回、独立した外部専門家による評価を行い、客観性を確保



*1 社外取締役間の自由な討議を通じた課題認識の深化を目的に、取締役会議題の事前説明、執行の取組の追加説明を実施

*2 当社グループへの理解、中長期的課題に関連する最新動向を掴み取締役の知識・知見を高めることを目的に、社外有識者による講義、事業拠点への視察等を実施

取締役会の
実効性評価

p.29へ

監督
報告

p.28へ

短期業績連動報酬（STI）における評価指標

- 連動対象
執行役の報酬全体の約30%を占める短期業績連動報酬の10%部分

短期業績連動報酬における評価指標・評価ウェイト

評価指標		評価ウェイト
業績指標	連結投下資本利益率（ROIC）	45%
	連結営業利益	
MBO	担当事業毎のKPIに基づき設定	45%
ESG指標	“E（環境）”：CDP*	10%
	“S（社会）”：GES*	

*CDP：気候変動対応の戦略やGHG排出量削減の取り組みなどを評価するESG評価機関

*GES：Global Engagement Surveyの略。2019年より全世界の荏原グループ従業員を対象に実施。中長期的に目指すありたい姿の達成に向け会社や職場におけるエンゲージメントの現状を調査するもの

社外からの評価



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2023 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



Corporate Governance
of The Year



2023
Somo Sustainability Index

MSCI
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	---	----	-----

*株式会社荏原製作所のMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による株式会社荏原製作所の後援、宣伝、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。



2023
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



NIKKEI
Smart Work

★★★★★ 2024

NIKKEI
SDGs

Management Survey 2023
★★★★★





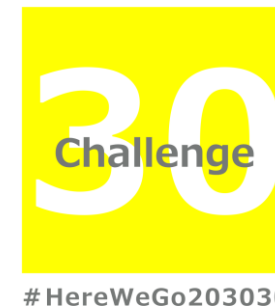
In support of

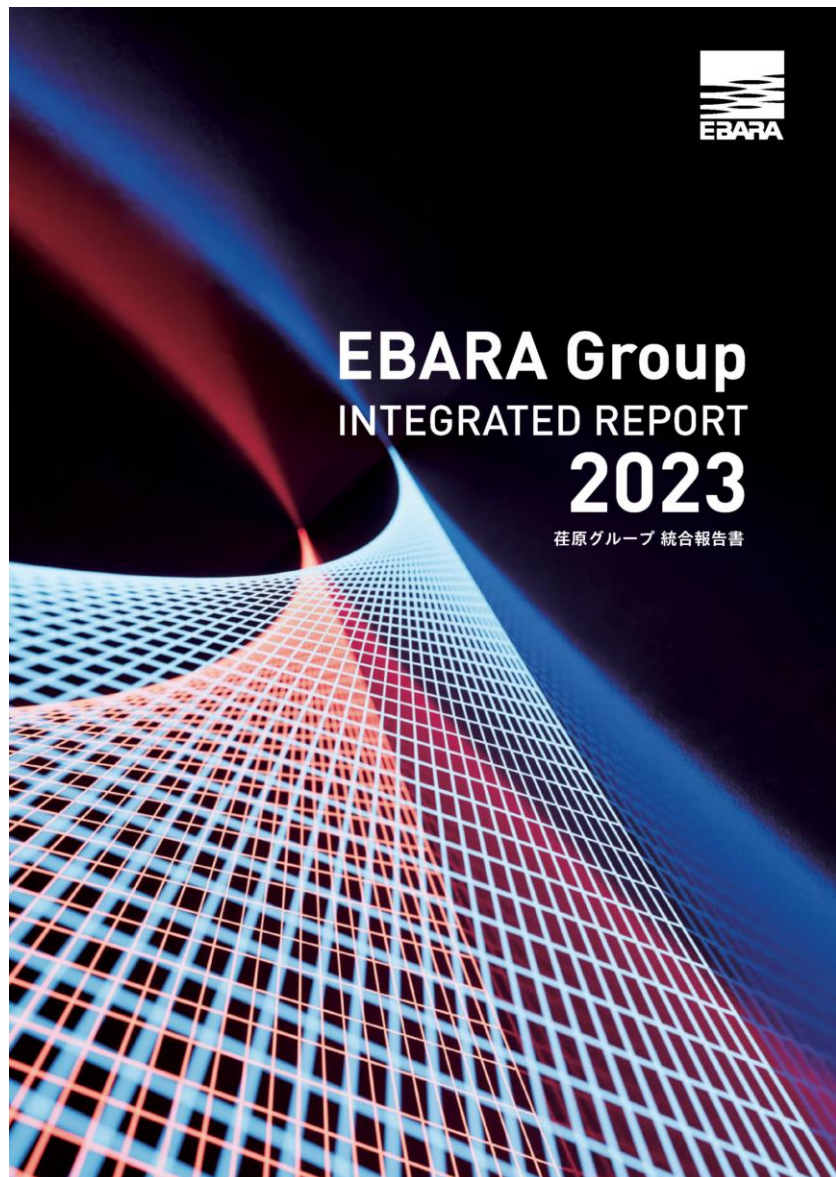
**WOMEN'S
EMPOWERMENT
PRINCIPLES**

Established by UN Women and the
UN Global Compact Office



国連グローバル・
コンパクトの署名





CONTENTS

価値創造の仕組み

- 2 荏原グループの企業倫理の枠組み
- 3 荏原グループの存在意義と歴史

5 価値創造ストーリー

- 7 荏原が社会に生み出す価値

中長期の企業価値創造

9 長期ビジョンE-Vision2030と 中期経営計画E-Plan2025

11 社長メッセージ



事業戦略

- 37 新規事業
- 39 新規事業(水素・宇宙)
- 41 ■ 建築・産業カンパニー
- 43 ■ エネルギーカンパニー
- 45 ■ インフラカンパニー
- 47 ■ 環境カンパニー
- 49 ■ 精密・電子カンパニー

価値創造の基盤

- 51 人材戦略
- 53 研究開発・知的財産戦略
- 55 DX戦略
- 57 リスクマネジメント
- 59 コンプライアンス
- 61 環境マネジメント
- 63 社会に対する取り組み

65 取締役会議長と ステークホルダーとの対話

- 15 CFOメッセージ
- 17 財務・非財務ハイライト

19 前中期経営計画E-Plan2022の振り返り 23 新中期経営計画E-Plan2025

- 27 E-Vision2030とE-Plan2025 非財務目標とKPI
- 29 気候変動に対する取り組み
- 31 データドリブン経営の実現を目指して

特集

33 技術戦略と技術元素表



- 67 取締役
- 69 取締役の略歴
- 71 取締役会の役割と構成
- 73 コーポレートガバナンス
- 85 執行役の略歴

コーポレートデータ

- 87 10か年データ
- 89 連結財務諸表
- 93 ESG 5か年データ
- 94 外部からの評価
- 95 会社情報/株式情報

免責事項

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。